

## 伊勢湾貧酸素情報（第5報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

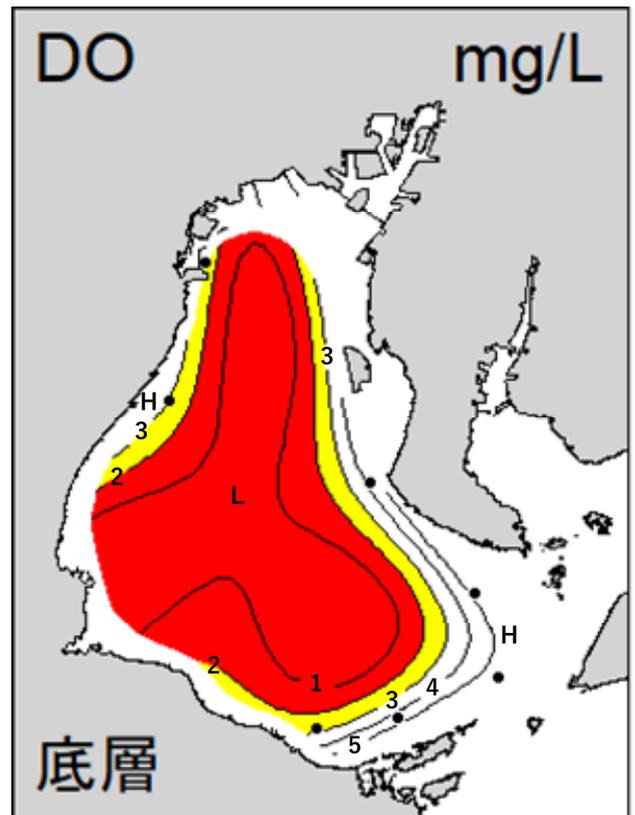
### 10月1日の調査結果

10月1日の調査船「あさま」の定線観測（速報値）によると、水温は表層で24.1～24.5℃、10mで24.0～24.9℃、底層で21.6～24.9℃の範囲にあり、表層と10mは平年より高め、底層は平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で6.6～10.1ppm、10mで1.8～6.2ppm、底層で0.3～5.6ppmの範囲にあり、表層と底層は平年よりやや低め、10mは平年よりかなり低めとなっていました。

底層では、先月の観測時より規模が拡大し、依然として広い範囲で2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されました。

表層と底層の水温差などは小さくなってきていますが、まだ海水の上下混合が起こりにくい状況にあり、今後もしばらくは貧酸素状態を注視していく必要があると考えられます。



底層貧酸素水塊分布図